

みどり園★「トライやる」!!

6月1日(月)～6月5日(金)

今年も、トライやるウィーク期間中、みどり園管内8名の中学生（西脇中4名、西脇南中1名、黒田庄中1名、八千代中2名）を受け入れました。

8名とも元気いっぱい体と頭を動かして、初めての体験にトライしました。

彼らの学びの風景を写真と感想のダイジェスト版でご紹介します。



一番人気の解体作業



ペットボトルを圧縮してリサイクル



収集作業は安全に気をつけて



こんなところに大きな布団が…(不法投棄撤収)



真剣に説明を聞いています

トライした感想(ダイジェスト)…彼らは何を学び何を感じたのか?

★西脇中Iくん

みどり園の作業で一番楽しかったのは「解体作業」です。家庭から持ち込まれた大型ごみを、細かく分解することがリサイクルの近道だとわかりました。みどり園の職員の方が、協力し合って作業をすすめているところに参加できてよかったです。

★西脇中Tくん

3日目に不法投棄の撤去作業に参加しました。峠道の斜面にあんなにたくさんの不法投棄がされているのにびっくりしました。大きな家電製品や布団や机も出てきました。ごみを捨てるのは簡単だけれど、回収するのはほんとうに大変なことだと思いました。不法投棄はみんなの迷惑行為だと痛感しました。

★西脇中Y(N)くん

ごみの収集車に乗り込んで可燃ごみや容器包装プラを集めました。そして収集したペットボトルを圧縮して梱包する作業にもトライしました。分別されたごみがどのようにしてリサイクルされるのか実感しました。

★西脇中Y(K)くん

大型ごみの受付業務を手伝いました。解体するのもコツがいるんだなと感じました。廃油から石鹸が作れるのにおどろきました。「ペットボトルもいろいろな再生品に生まれ変わる」ってすごいなと思いました。リサイクルの大切さを学びました。

★西脇南中Kくん

みどり園のトライやるのスケジュールは盛りだくさんでした。中でもやはり収集作業を手伝ったことが一番印象に残りました。不法投棄の撤収作業もしました。環境学習の実践として、とても役に立ちました。「僕はぜったいにポイ捨てはしないぞ」と誓いました。

★黒田庄中Iくん

施設内作業のうち、大型ごみの解体を手伝ったことがとても楽しかった。ためになったことは、不法投棄の撤収作業でした。「誰がこんなところにこんな大きなごみを捨てるのか」と思いました。分別やリサイクルの大切さを学びました。

★八千代中Tさん

わたしにとってはすべてが初めての体験で、戸惑ってばかりの日々でしたが、みどり園の方々ややさしく根気よく教えてください、楽しい時間を過ごすことができました。女子の参加はひさびさりのことだったらしいけれど、男子と同じ内容のカリキュラムをこなすことができました。

★八千代中Hさん

ごみの収集は言うまでもなく、リサイクルのことやごみの分別についても丁寧に教えていただきました。山や木々のみどりが毎年同じように濃淡をつけ、私たちのところをなごませてくれるのも、「地域住民の環境に配慮した日々の生活があってこそ」だと実感できました。